

市民協働センター「だより」

出向いて開催「地域食堂」

昨年秋から余呉地域で始まった「地域食堂」は、集落の自治会館などで近隣住民が食事とレクリエーションを楽しむ場です。同地域の暮らしの困りごとを検討する協議団体から生まれた取り組みで、余呉福祉の会が運営を担います。

同地域は南北間が約20kmにもおよび、自治会ごとの距離が離れているのが特徴。1人暮らし高齢者・高齢者世帯の深刻な増加が共通の課題に加え、エリアごとに暮らしの困りごとがある現状を踏まえ「出向いて交流するなかで本音に寄り添いたい」との思いがきっかけでした。



▲昨年秋の開催でのメニューはカレー。約30人の住民が囲みました。

メニューは「食べたいけど1人だと機会がない」といった品を意識。食後は地元小学生が作成したカルタで遊び、ふだんならテレビを観て過ごすだけなどになりがちな時間帯を楽しん

でもらうなど、細やかな工夫を盛り込みました。

福祉の会の代表の三段崎静子さんは「子どもの多いエリアでは多世代交流として企画するなど地域の特性を大事にして続け、住民さんとの信頼関係を育てていきたい」と話します。

※コロナウイルス感染症防止のため、現在は取り組みを休止しています。

長浜をより深く知る 二つの企画展

「み～な びわ湖から」

<会場 長浜図書館1階>

湖北地域の再発見をテーマに、ボランティアライターが取材に駆け回り発行を続け、昨年30周年を迎えたタウン誌「み～な びわ湖から」。展示では、過去140号分からテーマを決めて抜粋し写真や記事をパネルなどで立体的に構成。関連図書の紹介もあり、より造詣を深められます。

展示期間 6月30日(火)まで。5月のテーマはびわ湖と山と。

時間 長浜図書館の開館時間

山門水源の森を次世代へ引き継ぐ会

<会場 滋賀銀行長浜支店ロビー>

滋賀県最大の湿原で約4万年の歴史をもつ「山門水源の森」(西浅井町山門)。豊かな自然環境を守り人との共生をめざそうと、同会が熱心に保全活動に取り組んでいます。展示では、山門湿原ならではの動植物の生態などパネルで紹介、湿原の全容をわかりやすく学ぶことができます。

展示期間 5月15日(金)まで

時間 同銀行(高田町)の開業時間

※両展示とも、マスクを着用し長時間の滞在を避けてご鑑賞ください。

こんな活動してます！

木之本ローズガーデン
ボランティアの会

JR木ノ本駅東口ロータリーの一画、約400㎡にわたってバラの木が植わり、これからの季節次々に開花していきます。木々の手入れを担うのが、木之本ローズガーデンボランティアの会。

平成21年に旧木之本町の呼びかけで結成。栽培のコツやワザを教えあい学び合いながら、まちの玄関口を美しく彩ってきました。

現在のメンバーは40～70代の男女23人で、班分けして担当日を分担し、月に1度には全員で手入れをしています。摘花や剪定などをこまめに行い、12月まで開花を楽しむことができます。「きれい!」「すごいね!」、駅利用者らからそんな声を聞くのが何よりの励みになっています。メンバーも随時募集中。バラの栽培に興味がある人はもちろん、初心者でも歓迎です。



ガーデニング、園芸が好きな人にぴったりの地域貢献になるはず
代表 北川 重義 (☎090-6054-0536)

さざなみタウン 長浜文化福祉プラザ 一部施設休館のお知らせ

長浜まちづくりセンター・長浜図書館・ながはま市民協働センターは、

コロナウィルス感染拡大を防ぐため、5月6日(水)まで臨時休館します。

最新情報はさざなみタウンホームページでご確認ください。一刻も早い事態の収束のためにご協力をお願いします。